



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月11日

上場会社名 株式会社ダイセキ環境ソリューション 上場取引所 東・名 各一部
 コード番号 1712 URL <http://www.daiseki-eco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 村上 実 (TEL)052(611)6350
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の業績(平成23年3月1日~平成23年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	3,915	69.3	288	966.9	286	-	164	-
23年2月期第2四半期	2,311	22.8	27	90.0	20	91.8	8	94.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	2,753.07	-
23年2月期第2四半期	135.05	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年2月期第2四半期	6,904	4,852	70.2
23年2月期	6,811	4,678	68.6

(参考)自己資本 24月期第2四半期 4,852百万円 23年2月期 4,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	-	0.00	-	400.00	400.00
24年2月期	-	0.00	-	-	-
24年2月期(予想)	-	-	-	400.00	400.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成24年2月期の業績予想(平成23年3月1日~平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,984	33.5	474	271.2	461	215.0	272	507.2	4,593.70

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

以外の会計方針の変更 : 有・無

会計上の見積りの変更 : 有・無

修正再表示 : 有・無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年2月期2Q	59,863株	23年2月期	59,863株
期末自己株式数	24年2月期2Q	0株	23年2月期	0株
期中平均株式数(四半期累計)	24年2月期2Q	59,863株	23年2月期2Q	59,863株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」を参照ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(第2四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、厳しい雇用情勢が続く中、アジアを中心とした新興国における経済成長や政府による景気対策等に後押しされる形で、輸出主導による緩やかな景気回復を続けてまいりました。しかしながら本年3月11日に発生した東日本大震災は電力供給や物流網をはじめとする社会インフラに未曾有の打撃を与え、日本経済は一転して先行き不透明な状況となりました。加えて、欧州及び米国債のデフォルト危機の拡大懸念等から、世界景気の先行きに対する不安も一挙に浮上し、結果として、個人消費の落ち込み懸念や急速な円高進行などが顕在化し、今後の景気動向は全く予断を許さない展開となりました。

当社の業績に大きな影響を及ぼす不動産市況においても、不動産開発の停滞や民間設備投資の手控え等厳しい状況は続いておりますが、首都圏を中心にやや明るさが出てきたところであります。今般の東日本大震災による影響は依然として未知数であり、不確実な要素はありますが、概ね緩やかな回復傾向を辿っていると思われれます。

このような背景のもと、土壌汚染調査・処理事業中心にリサイクル分野や環境分析分野への展開も積極的に進めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,915百万円(前年同四半期比69.3%増)、経常利益は286百万円(同1,285.2%増)、四半期純利益は164百万円(同1,938.5%増)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

[土壌汚染調査・処理事業]

部分的な動きではありますが、首都圏を中心とした不動産市況の緩やかな回復を下支えとし、引き続き営業体制の強化及びグループ会社間の連携強化による情報収集の強化を図り、新たな需要の開拓に注力してまいりました結果、売上高3,804百万円、営業利益400百万円となりました。

[その他]

廃バッテリー等の荷動きが堅調に推移したことにより、売上高111百万円、営業利益48百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は1,954百万円となり、前事業年度末に比べ79百万円の増加となりました。主な要因は、現金の増加415百万円、売掛金の減少224百万円及び有価証券の減少100百万円であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は4,949百万円となり、前事業年度末に比べ13百万円の増加となりました。主な要因は差額評価金の増加による投資有価証券の増加56百万円、リース資産の増加51百万円及び減価償却等による有形固定資産の減少122百万円であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は1,644百万円となり、前事業年度末に比べ42百万円の減少となりました。主な要因は、短期借入金の減少275百万円、未払法人税等の増加149百万円及び買掛金の増加43百万円であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は406百万円となり、前事業年度末に比べ39百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金の減少85百万円及びリース債務の増加45百万円であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は4,852百万円となり、前事業年度末に比べ174百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益164百万円、その他有価証券評価差額金の増加27百万円及び剰余金の配当23百万円であります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローにつきましては、内部留保資金の充実を大前提としつつ、事業の安定的拡大に必要な投資を実行してまいりました。

その結果、現金及び現金同等物の当第2四半期累計期間末残高は746百万円(前事業年度末比418百万円増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税引前四半期純利益285百万円、売上債権の減少額179百万円、減価償却費124百万円等により、総額で736百万円の収入(前年同四半期は6百万円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出45百万円があったものの、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入100百万円等により、総額で65百万円の収入(前年同四半期は172百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少額275百万円、長期借入金の返済による支出85百万円及び配当金の支払額23百万円により総額で384百万円の支出(前年同四半期比117.3%増)となりました。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の業績予想につきましては、平成23年9月7日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1)簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	746,426	328,370
受取手形及び売掛金	1,052,182	1,231,514
たな卸資産	75,579	55,568
その他	86,348	265,155
貸倒引当金	6,187	6,187
流動資産合計	1,954,349	1,874,421
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	973,061	1,021,459
土地	2,743,504	2,743,504
その他(純額)	687,550	650,302
有形固定資産合計	4,404,115	4,415,266
無形固定資産	11,744	12,676
投資その他の資産	533,935	508,773
固定資産合計	4,949,795	4,936,715
資産合計	6,904,144	6,811,137
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	483,981	430,016
短期借入金	845,148	1,120,148
未払法人税等	149,865	-
引当金	29,798	26,671
その他	136,107	110,097
流動負債合計	1,644,899	1,686,933
固定負債		
長期借入金	268,038	353,112
引当金	96,055	90,622
その他	42,596	2,268
固定負債合計	406,689	446,002
負債合計	2,051,589	2,132,936

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,446,921	1,446,921
資本剰余金	1,242,433	1,242,433
利益剰余金	2,135,890	1,995,028
株主資本合計	4,825,244	4,684,382
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,310	6,181
評価・換算差額等合計	27,310	6,181
純資産合計	4,852,555	4,678,200
負債純資産合計	6,904,144	6,811,137

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	2,311,720	3,915,989
売上原価	1,982,883	3,300,038
売上総利益	328,836	615,951
販売費及び一般管理費	301,778	327,263
営業利益	27,058	288,687
営業外収益		
受取利息	424	755
受取配当金	850	1,490
受取地代家賃	4,551	4,236
保険返戻金	1,694	-
還付加算金	-	2,336
その他	849	1,887
営業外収益合計	8,369	10,705
営業外費用		
支払利息	5,150	4,511
固定資産賃貸費用	9,609	8,457
その他	9	258
営業外費用合計	14,769	13,227
経常利益	20,657	286,165
特別損失		
固定資産除却損	332	941
特別損失合計	332	941
税引前四半期純利益	20,325	285,223
法人税、住民税及び事業税	19,208	145,062
法人税等調整額	6,967	24,646
法人税等合計	12,240	120,416
四半期純利益	8,084	164,807

(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	1,221,799	2,121,341
売上原価	1,051,621	1,763,062
売上総利益	170,178	358,278
販売費及び一般管理費	145,290	164,688
営業利益	24,888	193,589
営業外収益		
受取利息	278	367
受取配当金	850	1,490
受取地代家賃	2,275	1,931
保険返戻金	1,694	-
還付加算金	-	2,147
その他	483	1,201
営業外収益合計	5,582	7,137
営業外費用		
支払利息	2,483	2,199
固定資産賃貸費用	5,089	4,015
その他	-	8
営業外費用合計	7,573	6,222
経常利益	22,897	194,504
特別損失		
固定資産除却損	332	941
特別損失合計	332	941
税引前四半期純利益	22,564	193,563
法人税、住民税及び事業税	9,121	86,225
法人税等調整額	3,029	1,445
法人税等合計	12,151	84,780
四半期純利益	10,413	108,782

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	20,325	285,223
減価償却費	150,275	124,691
賞与引当金の増減額(は減少)	3,514	3,127
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,478	2,660
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3,472	2,772
受取利息及び受取配当金	1,274	2,245
支払利息	5,150	4,511
有形固定資産除却損	332	941
売上債権の増減額(は増加)	134,744	179,021
たな卸資産の増減額(は増加)	26,467	20,010
仕入債務の増減額(は減少)	36,608	62,522
その他	50,192	22,244
小計	62,412	665,459
利息及び配当金の受取額	1,270	2,246
利息の支払額	5,376	4,374
法人税等の支払額	64,924	4,631
法人税等の還付額	-	78,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,618	736,728
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	28,107	45,503
有形固定資産の売却による収入	82,179	2,405
投資有価証券の取得による支出	88,444	-
貸付けによる支出	127,600	-
貸付金の回収による収入	174	14,765
その他	11,041	5,977
投資活動によるキャッシュ・フロー	172,840	65,689
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	50,000	275,000
長期借入金の返済による支出	155,684	85,074
配当金の支払額	71,147	23,855
その他	-	432
財務活動によるキャッシュ・フロー	176,831	384,361
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	356,290	418,055
現金及び現金同等物の期首残高	582,356	328,370
現金及び現金同等物の四半期末残高	226,066	746,426

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業全体の大部分を占める「土壌汚染調査・処理事業」を報告セグメントとしております。「土壌汚染調査・処理事業」は、土壌汚染の調査から浄化処理まで一貫して請負い、営業活動を含めた事業活動を一体的に行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期損益 計算書計上額 (注)3
	土壌汚染調査・ 処理事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,804,674	111,314	3,915,989	-	3,915,989
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	64,419	64,419	64,419	-
計	3,804,674	175,734	3,980,409	64,419	3,915,989
セグメント利益	400,678	48,550	449,228	160,540	288,687

当第2四半期会計期間(自平成23年6月1日至平成23年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期損益 計算書計上額 (注)3
	土壌汚染調査・ 処理事業				
売上高					
外部顧客への売上高	2,058,168	63,173	2,121,341	-	2,121,341
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	33,021	33,021	33,021	-
計	2,058,168	96,194	2,154,362	33,021	2,121,341
セグメント利益	243,437	30,369	273,806	80,217	193,589

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル、環境分析、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

1 四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
土壌汚染調査・処理事業	3,831,317	-
その他	77,929	-
合計	3,909,247	-

- (注) 1.金額は、販売価格によっております。
2.上記の金額には、消費税は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
土壌汚染調査・処理事業	4,191,954	-	1,428,262	-
その他	84,971	-	7,820	-
合計	4,276,926	-	1,436,082	-

- (注) 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
土壌汚染調査・処理事業	3,804,674	-
その他	111,314	-
合計	3,915,989	-

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
㈱ダイセキ	110,156	4.7	853,090	21.7
㈱オキ・コーポレーション			519,340	13.2

- 3 上記の金額には、消費税は含まれておりません。